

## IEC/TC108/HBSDT会議報告

49回目となる、IEC/TC108/HBSDT会議がWEBにて、2024年10月7日～11日の間に、隔日で3日間（日本時間で10月7日22:00から12日1:00まで）開催されました。会議には21カ国から73名のエキスパートの参加があり、活発な審議が行われましたので、その報告をいたします。

**【IEC/TC108が所管する規格の解釈に関して】**

IEC/TC108では所管する規格の解釈に関し、各国の国内委員会等から寄せられた質問等に関して審議しており、ここでIEC62368-1に関する部分を報告します。

イヤホンなどのリスニングデバイスをBluetooth (BT) 接続する際、Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)のバージョンによっては個人用音楽プレーヤー (PMP) から出るデジタル出力が一定となり、音量はリスニングデバイスで調整される場合があるため、PMPからのデジタル出力については、限度値を適用しなくても良い、と解釈することとし、TC108から解釈文書を出すこととした。

PS3回路の炎の拡散の抑制において、防火用エンクロージャ内にある可燃性材料は、V-2材であることなどの難燃材が求められるが、実際の機器のエンクロージャはPS3回路の制限区域を越えて、防火エンクロージャが不要な部分まで広く部品を囲んでいる場合がある。この制限区域外にある部品には、そのような難燃材の要求は適用しなくて良いことを明らかにする提案あり、その趣旨が採用され、規格解釈として適切になるような文書となるように見直しすることとした。

ライン間またはライン-中性線間に接続されたES3 (AC 主電源に直接接続) のコンデンサを重要なコンポーネントと見なし、G.11に従わなければならない解釈する提案は、その趣旨が採用されたが、これは火災に対する保護であることを示すように文書の見直しを行うこととした。

**【IEC 62368-1の改正審議】**

IEC/TC108ではIEC 62368-1第4版の改正作業に取り掛かっています。会議では以前の会議から継続して審議している案件も含め多くの改正提案等がありましたので、その一部を報告します。

- LPS (附属書Qの要求事項を満たす回路) には、6.4.6 (PS3 回路における炎の拡散の抑制) で規定する防火用エンクロージャを要求しないとする提案
- 音圧の制限は基本的にはPMP acoustic maximum dose exposure方式だけとして、PMP acoustic maximum sound pressure方式を適用する場合、RS1の制限値を85dB(A)から80dB

(A)としRS2、RS3の出力は認めないとする提案。

- 導体間に浮いている金属がある場合の距離の測定に関して、IEC 60664-1/AMD1 ED3に対する追補のドラフトにおいて変更が行われていることから、それに合わせて、変更する提案。(CTL DECISION SHEET No.2214は、その取り扱いを再考する必要がある。)
- 一般人が電池を交換する場合に於いて、アクセス可能なエネルギー源のレベルを明確化する提案。
- ヒューズを用いて電力をPS2に制限する場合の要求事項の変更
- 主電源への接続に恒久接続用端子を用いる場合の要求事項の追加
- 将来に発行する予定のIEC 63315を引用するにあたって、必要となる事項の提案

**【IEC 62368-1第4版に関して】**

IEC 62368-1第4版は2023年5月に発行されましたが、多くの修正が必要となっていることが指摘されています。この修正を行うため、Corrigendum (正誤表) 及びAmendment (追補) の両方を発行して対応する予定としています。正誤表についてはそのドラフトが今回の会議で提示されましたが、追補については更なる作業が必要であることが報告されました。

**【今後の予定】**

IEC/TC108では、次回 (2025年春) のIEC/TC108/HBSDT会議をコペンハーゲン (デンマーク) で行い、次々回 (2025年秋) はIEC総会の一部としてデリー (インド) で開催する予定としています。また、いずれかの会議において、IEC/TC108/Plenary会議の開催も予定しています。

**【お問い合わせ先】**

電気製品安全センター

TEL : 03-3466-5131

E-mail : center@jet.or.jp